

福生市議会

FUSSA

だより

No.192

発行 福生市議会
平成26年4月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成26年 第1回定例会

平成26年度予算を可決 一般会計及び各特別会計356億1千82万8千円

本会議の経過

平成26年第1回定例会は、2月25日から3月26日まで会期30日間で開催され、17人の議員による一般質問が行われ、条例改正、各会計予算など市長提出議案17件、陳情7件などが審議されました。

▼1日目(2月25日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を3日間と決定しました。

▼2日目(2月26日)は、5人の議員が一般質問を行いました。

▼3日目(2月27日)は、6人の議員が一般質問を行いました。

▼4日目(2月28日)は、1人の議員が一般質問を行い、17人の議員の一般質問を終了し、続いて、

市長から提出された議案は、提案理由の説明後、所管の委員会に付託されました。なお、東京都後期高齢者医療広域連合の規約変更議案は、慎重審議の上、即決で可決されました。また、「平成26年度一般会計予算」は、

19人の委員をもって構成する福生市一般会計予算審査特別委員会を設置し、審査することに決まりました。

▼5日目(3月26日)は、最終日で、定住化対策特別委員会の付議事件の変更及び中間報告があり、その後、委員会へ付託された議案16件が可決されました。また、審議した陳情7件のうち5件を不採択とし、2件については、継続して審査することとなり、今定例会を終了しました。



第30回ふっさ桜まつり(平成25年) 写真コンクール入選作「若い二人」



「議会日誌」

日	内容	日	内容
13日	定住化対策特別委員会 東京都町村議会議員公務災害補償等組合議会	27日	議会運営委員会 例月出納検査
10日	西多摩衛生組合議会定例会 瑞穂斎場組合議会定例会	26日	議会運営委員会 第1回定例会5日目
6日	熊本市議会議員会 熊本市議会議員会	24日	議会運営委員会 総務文教委員会協議会
5日	熊本市議会議員会 熊本市議会議員会	18日	議会運営委員会 総務文教委員会協議会
4日	西多摩衛生組合議会 西多摩衛生組合議会	14日	議会運営委員会 横田基地対策特別委員会
3日	建設環境委員会協議会 建設環境委員会協議会	13日	議会運営委員会 市民厚生委員会
▼2月		12日	議会運営委員会 建設環境委員会
31日	東京都市議会議員会 東京都市議会議員会	7日	議会運営委員会 予算審査特別委員会
30日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会	6日	議会運営委員会 予算審査特別委員会
29日	三多摩地区消防連合協議会第2部会 三多摩地区消防連合協議会第2部会	5日	議会運営委員会 予算審査特別委員会
24日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会	4日	議会運営委員会 予算審査特別委員会
23日	三多摩地区消防連合協議会第2部会 三多摩地区消防連合協議会第2部会	3日	議会運営委員会 予算審査特別委員会
21日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会	2日	議会運営委員会 予算審査特別委員会
20日	議会運営委員会 議会運営委員会	1日	議会運営委員会 予算審査特別委員会
17日	東京都後期高齢者医療広域連合議会議員説明会 東京都市議会議員説明会	28日	議会運営委員会 第1回定例会4日目
16日	西多摩地区議長会 西多摩地区議長会	27日	議会運営委員会 第1回定例会3日目
15日	財政援助団体等監査(16日まで) 財政援助団体等監査(16日まで)	26日	議会運営委員会 第1回定例会2日目
14日	山口県防府市視察来市 山口県防府市視察来市	25日	議会運営委員会 第1回定例会1日目
13日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	24日	議会運営委員会 例月出納検査
12日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	23日	議会運営委員会 議・定例会
11日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	22日	議会運営委員会 議・定例会
10日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	21日	議会運営委員会 議・定例会
9日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	20日	議会運営委員会 議・定例会
8日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	19日	議会運営委員会 議・定例会
7日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	18日	議会運営委員会 議・定例会
6日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	17日	議会運営委員会 議・定例会
5日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	16日	議会運営委員会 議・定例会
4日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	15日	議会運営委員会 議・定例会
3日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	14日	議会運営委員会 議・定例会
2日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	13日	議会運営委員会 議・定例会
1日	東京都市議会議員研修会 東京都市議会議員研修会	12日	議会運営委員会 議・定例会

● 主な内容 ●

議会日誌	1面
可決された案件	2面
予算審査から	3面
一般質問	4~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▽賛成多数

◎福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

国の人事院規則にあわせ、3歳未満の子を養育する職員の超過勤務、休日勤務の免除に関する規定を整備するもので、あわせて用語の整理を行うもの。

◎福生市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律に基づき、育児休業を取得することができる職員が、再度の育児休業を取得することができる要件を緩和し、必要な規定の整備を行うもの。

◎福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

乳幼児の医療費の助成に関する条例、義務教育就学児の医療費の助成に関する条例及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例において、交通事故等の給付の場合の

第三者行為に係る求償に関する規定を整備し、法的根拠を明確にするもの。

▽福生市敬老金条例の一部を改正する条例

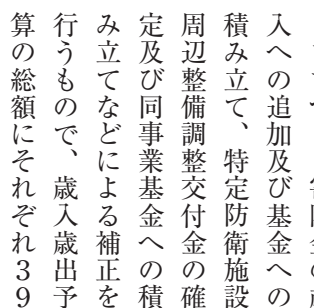
敬老金を贈呈する年齢など対象者の要件及び敬老金の額の見直しと、贈呈要件の基準日を改めるもの。

◎福生市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部改正に伴い、名称を障害支援区分認定審査会に改めるもので、あわせて附則において福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正するもの。

◎福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

排出された資源物を市の指定収集業者以外の者が持ち去る行為を抑制し、それにより市が定めた一般廃棄物処理計画を適正に実施するため、資源物の収集または運搬の禁止等に関する規定を整備し、あわせて用語の整理を行うもの。



▲資源の持ち去り防止を

0.2万6千円を追加し、予算総額をそれぞれ22億8941万6千円とするもの。

◎平成25年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入では平成24年度決算の確定に伴う繰越金及び保険料未収金補填分負担金返還金を追加し、歳出では平成25年度広域連合分賦金の追加請求等を行うため補正を行うもので、歳入歳出予算の総額に、それぞれ5977万8千円を追加し、予算総額をそれぞれ10億2573万4千円とするもの。

◎市道路線の認定について

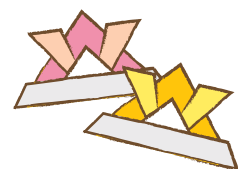
土地所有者から寄附の申し出により、わらつけ街道と牛浜北通りの交差点付近の大字福生字武蔵野2406番地4先路線を市道路線に認定するもの。

◎市道路線の廃止について

新興多摩街道とJR五日市線が交差する熊川第一踏切付近の市道第189号線は、一般の交通の用に供されていないため廃止するもの。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第4号)

まちづくり寄附金の歳入への追加及び基金への積み立て、特定防衛施設周辺整備調整交付金の確定及び同事業基金への積み立てなどによる補正を行うもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ39



陳情

今定例会の各委員会で審査された結果、不採択となった陳情は次のとおりです。

◆不採択

○非婚の母子家庭の母が税法上の寡婦とされず不利益を受けていることに関する陳情書(253号)

(不採択理由) 市ではみなし適用の実施を決めており、また税法の改正については議会でも要望する立場ではないため、意に沿いがたい。

○介護保険制度に関する陳情書(258号)

(不採択理由) 要支援者については、地域包括ケアシステムを含め、新たな視点で介護保険制度をつくる必要がある、意に沿いがたい。

○「地方自治法第124条改正」についての意見書提出(261号)

(不採択理由) 当市では、議員の紹介がなくても、陳情書として取り扱い、請願書と同様に審査をしており、意に沿いがたい。

○「地方自治法第124条改正」についての意見書提出(262号)

(不採択理由) 当市では、議員の紹介がなくても、陳情書として取り扱い、請願書と同様に審査をしており、意に沿いがたい。

○「行政事件訴訟法第3条第2項修正」についての意見書提出(263号)

(不採択理由) 判決について変更を求めるとは、司法の問題であり、議会で審査する内容ではなく、意に沿いがたい。

討論

●平成26年度福生市一般会計予算

■反対

国の経済政策により暮らしても経済も共倒れの危惧があるので、社会保障、雇用の安定による内需基盤拡大こそ必要である。

今こそ横田基地ありきの姿勢を転換し、市の未来を展望すべきときと考える。

今回の予算では、商店振興策、地元建設業者等への効果的配分が不十分であり、再生可能エネルギー導入への独自施策もない。また、福祉バス増便や、学校給食費無料化への取り組みもなく、そして、少人数学級実現への努力が見えない状況であり、市民の暮らしを支援する財政的裏づけがあるのに十分な配分がされていないので、この予算には反対する。

■賛成

国政ではアベノミクスによる経済再生効果が上がりつつあるが、地方自治体の財政運営は依然厳しい中、市政のかじ取りに市長の手腕が問われる。

国施策による歳入増要素もあるが、市税のほか税外収入もしっかりと予算化し、扶助費増は見込むものの人件費等のスリム化を図り、財源は臨時財政対策債の借入れに対し財政調整基金からの繰入れで収支均衡を図っている。その上で今やるべき懸案事業の執行、そして市民サービスの維持・向上を図る施策に前向きな姿勢がうかがえる。

五つの施策ジャンル新5Gは、子育て世代に定住化を促し高齢世代がともにも元気なまちづくりを目指すものなので、予算に賛成する。

■賛成

対前年度比1.7%増の予算編成だが、歳入は、地方消費税交付金の引上げ額相当額は社会福祉目的として充当され、自動販売機使用料の導入や市有地使用料徴収など税外収入も確保されている。

歳出では、道路照明灯LED化やわかたけ会館等の改良など、次世代に向けた投資的経費を見込む一方、既存事業も見直されている。災害対策や市道改良による安全なまちづくり、子育て世代の定住化や交通弱者対策の福祉バス運行事業改善のほか、子供たちの生きる力を育む教育予算など、私たちの要望も反映された予算であり、賛成する。

■賛成

市長の施政方針には盛りだくさんのメニューがあるが、特に災害対策について、給食提供機能を備えた災害時対応施設

の建設に注視し、施設に十分機能的な備えを盛り込むよう望みたい。また、行政だけでなく市民同士、自主防災組織、事業所による自助共助、公助を充実させ、市内災害対応設備等の周知も大事である。そして、定住化や市の魅力発信、農業、生活の安全等についても市長のさらなる努力を求めたい。以上、課題は山積しているが、施政方針を着実に進めてくれることを願い、賛成する。

●平成26年度福生市国民健康保険特別会計予算

●平成26年度福生市一般会計予算

●平成26年度福生市後期高齢者医療特別会計予算

●平成26年度福生市下水道事業会計予算

●次の議案に対し反対討論がありました。

●福生市敬老金条例の一部を改正する条例

●福生市下水道使用料条例の一部を改正する条例

●平成26年度福生市国民健康保険特別会計予算

平成26年度 予算の概要

一般会計予算を 4日間集中審査

今定例会に、平成26年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて356億1082万8千円が提出され、一般会計予算審査は予算審査特別委員会で4日間、特別会計予算審査は建設環境委員会及び市民厚生委員会で各1日間行われ、通算6日間にわたって慎重に審査され、それぞれ原案のとおり可決されました。

平成26年度の一般会計予算は220億9千万円で、前年度に比べて1.7%の増加となりました。

特別会計予算は135億2082万8千円で、前年度に比べて4.3%の増加となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は356億1082万8千円で、前年度に比べて2.6%の増加となりました。

一般会計予算の審査から

26年度の予算の特徴は

問 平成26年度予算の特徴や例年と異なる点は。
答 平成26年度予算は、前年度比で3億6千万円、1.7%の増となっている。建設事業では、道路照明LED化事業やわかたけ会館改良事業、災害対策では、消防ポンプ車の買い換えや市民会館への帰宅困難者向け食糧の備蓄、定住化対策では、まちの魅力発信事業支援

再編交付金について

問 再編交付金は、7事業で使っているが、こ

れ以上増やさないのか。また、事業の継続性についてどのように考えたか。さらに、繰入金と一般財源を使う割合に何かルールはあるのか。

答 新たな事業への充当は、今のところ考えていない。現在は7事業で基金を運用しているが、平成28年度で交付が終了するため、防衛施設周辺整備全国協議会と連携し、継続の要請を積極的にしていきたい。また、繰り入れについて特別のルールはない。市の基本的な方針に基づき、効果的な予算編成に努め、有効活用を図りたい。

市民活動団体事業支援補助金の廃止について

問 公益的な活動をしている団体に補助を出していたのが、今回廃止されたのだと思うが、今まで具体的にどのような事業に補助を出したのか。また、市民活動団体自体の現状はどうか。

答 事業の内容としては、福生の文化財や自然環境の保全、まちづくり、健康づくり、国際協力など多岐にわたっている。現在、102団体が活発に市民活動を行い、2カ月に1回、ネットワーク懇談会を開催して、団体相互の積極的な意見交換を行っている。

福祉バスの運行見直しについて

問 福祉バスのレベルアップ事業として、バスの移設により福祉バスの遅延解消と安全性の向上を図るとのことだが、この結論を得るに至った検討過程は。

答 全便に乗りして混雑具合の検証を行ったほか、バスの運転手等とも意見を交わして今回の案を提示した。基本的に今のままの運行形態を望む声が多く、現在の経路は大きく変更しないが、スムーズな車線変更を行うため、バス停の移設を行うこととした。また、運行遅延により運転手の休憩時間が減少し、安全性が低下することを防止するため、定刻で着くような改正案とした。

がん検診の受診率向上への取り組み

問 がん検診の受診率アップと定着化のために、平成26年度はどのような取り組みを考えているか。

答 広報、ポスター、ホームページや勧奨通知を発送するとともに、女性に特有のがんについて、例えば子育てサロンに職員が出勤するなどしてがん検診の案内を行い、受診率アップに努めている。また、女性の受診者に配慮し、医師や技師、

富士見通り整備事業について

問 都市計画道路3・4・7号線（富士見通り）が平成27年度に事業認可を取得するという実施計画になっているが、整備委託料の内容は。

答 道路拡幅に伴い境界を確定するための用地測量委託や、交通管理者や各企業等の補足設計の業

受付など全て女性のスタッフによる乳がん・子宮がん検診の集団検診を実施しており、平成26年度も引き続き実施する。

新元気をさせ商店街事業費補助金について

問 当該事業は、東京都、市、地域が3分の1ずつ負担するものだと認識しているが、東京都と市の負担分を合わせた数字とながっていない子どもた

業務の委託等である。具体的には、用地測量の地元説明会を行うための現地調査や、土地の権利調査の資料作成、官民境界・民境界の境界確定の立ち会い業務、平成27年度の事業認可申請に必要な関係書類等の作成などがある。

学校適応支援事業費について

問 学校適応支援室について

答 この事業はイベント事業と活性化事業の二つに分かれており、イベント事業のうち、総経費100万円未満のものが2分の1補助、100万円以上のものと活性化事業が3分の1補助となる。このように、補助メニューにより負担割合が異なるため、予算額とは一致しない。

答 東京都の事業である学校と家庭の連携推進事業を、平成26年度も継続して全校で取り組んでいく。家庭と子どもへの支援員、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、学校の担任、学年の教員等と連携協力しながら、不登校の改善に向けた取り組みを総合的にを行い、不登校児童・生徒の状況の改善につなげていきたい。

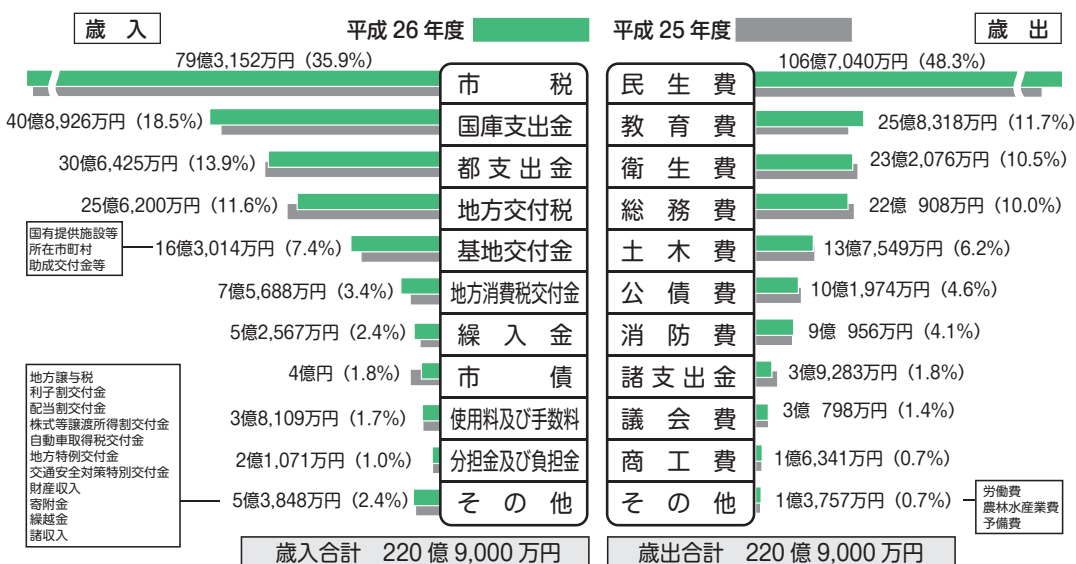


▲平成26年度一般会計予算を起立多数で可決

平成26年度 各会計別予算規模 (人口26.1.1現在 58,821人)

会計区分	26年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計	220億9,000万円	1.7	37万5,546円
特別会計			
国民健康保険特別会計	69億5,672万5千円	0.1	11万8,269円
介護保険特別会計	38億1,714万5千円	11.6	6万4,894円
後期高齢者医療特別会計	10億3,481万5千円	7.1	1万7,593円
下水道事業会計	17億1,214万3千円	4.9	2万9,108円
総合計	356億1,082万8千円	2.6	60万5,410円

平成26年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



福生の「良さ」を市民へ発信

末次 和夫 議員

質問 福生の良さをどう捉え市民に周知してきたか。良さを再確認し、定住化につなげる取り組みはどうか。

市長 多くの自治体の中から選ばれ続けるまちであるよう「子育てするならふっさ」のキャッチフレーズ等でシティセールスに取り組み情報発信してきたが、取り組みは調査でも市民に認知されている。特に転出者を減らす視点での調査はないが、



▲ふっさ十景の多摩川堤防の桜

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、5月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

日光橋などの史跡、文化財等の保護と活用について

堀 雄一朗 議員

質問 日光橋など、地名・橋・坂の由来や歴史を説明板で表示し紹介することは、郷土を知り愛着を持つきっかけにもなる。所見を伺いたい。

教育長 指定・登録文化財から優先的に保護に取り組む必要があり、説明板設置に至っていないものがある。日光橋は現存最古の道路のれんがアーチ橋として登録文化財候補になっており、登録されれば速やかに



▲明治36年頃の日光橋

任期付職員を他の部署でどう活用していくのか

町田 成司 議員

質問 高度の専門性を有する特定任期付職員を採用することだが、活用をどのように考えているのか。

市長 教育センターで、臨床心理士等の専門職員を統括し、学校支援の指導を行うため、教育、心理の専門家で、学校長の経験等がある者を、特定任期付職員として募集・選考している。この制度の他部署での活用の具体的計画はないが、外部人材の



▲教育センターがある子ども応援館

「子育てするなら福生」の子育て支援施策を問う

岩崎 百合子 議員

質問 15歳～18歳の未就学者・未就職者、高校中退者への進路相談の状況はどのようになっているか。

教育委員会参事 連絡を取り合える場合は出身中学校が情報提供等を行っているが、卒業時の担任が異動してしまった場合等は相談活動が困難となっている。学校を初め複数の機関が連携して支援に取り組んでおり、今後も一人一人の状況に即した



▲第三中学校卒業式の様子

農地が少なくなっていく福生市の農業の現状は

串田 金八 議員

質問 市内最後の水田もなくなり、後継者問題など困難もあると聞くが、福生市の農業の現状を伺う。

市長 現在の農家戸数は63戸で、生産緑地は相続税のため宅地化されるなど減少傾向にある。平成23年福生市農業振興計画策定時の調査によると、後継者は27人で意義のある数値だ。生産緑地の保全や追加指定のため積極策を講じていくことが



▲市内の農地

男女共同参画社会の実現に向けて

五十嵐 みさ 議員

質問 ワーク・ライフ・バランス推進は男性へのアプローチが大事だ。庁内や市内企業への働きかけを伺う。

市長 男女共同参画行動計画の主要課題にワーク・ライフ・バランスの推進があり、庁内では15課の職員が60事業でかかわる。庁内ホームページを通じて意識改革を図っていきたい。企業等にも計画の施策は向けられ、主に広報やホームペー

ジを活用しての啓発を行っている。



▲男女共同参加情報誌「あなたとわたし」

「障害者スポーツ」への参加を促進していこう

柳川 英司 議員

質問 障害者スポーツへの参加は社会のノーマライゼーションも推進する。健常者もともに参加できる環境整備にどう取り組むのか。

教育長 障害者の参加を促し、健常者と一緒に行える各種スポーツ教室開催や、正しい知識を持った支援ボランティアの育成を図っていきたい。また、スポーツの情報不足がないよう、情報を発信しアクセスを確

保していくことも必要だと考える。



▲障害者スポーツへの参加を

玉川上水にかかる日光橋は国内最古の橋か

杉山 行男 議員

質問 日光橋は、道路れんがアーチ橋として国内最古の橋と聞くが、正しいか。そうであれば、スポットを当てPRしてはどうか。

教育長 日光橋は1891年に建設され、現存最古の道路れんがアーチ橋で、中詰材はコンクリート使用とのことである。

ホームページや、ガイドツアーを活用し、今後もさらに福生市の魅力



▲現存する最古の道路れんがアーチ橋の日光橋

「次世代育成支援行動計画」について問う

武藤 政義 議員

質問 平成27年度から始まる子ども・子育て支援事業計画策定に向け、課題解決のため、これまでの事業の検証をどう行っていくのか。

子ども家庭部長 26年度までの次世代育成支援行動計画については、実施事業の目的がどう達成されたかの視点で、量的・質的な検証を行うとともにアンケート調査結果の分析を含め総合的に評価を行い、課題に

即した新計画を策定していきたい。



▲子ども・子育て審議会の様子

中学校給食実施を決断した理由を問う

池田 公三 議員

質問 中学校給食実施を歓迎する。食が必要と強く認識したことによる。決断した理由を改めて問う。

教育長 最大の要因は、給食センター建設予定地を災害時対応施設として確保できたことである。また、ランチルーム方式は、全生徒を対象にした昼食対策の充実には、施設、設備的に困難であり、食物アレルギー対応、更なる食育の推進などの課題解決のためには、中学校完全給



▲新給食センターの建設予定地

学校給食センター（災害時対応施設）の基本指針は

阿南 育子 議員

質問 新給食センターにおいて、を行っている。

未来をつくる子どもたちに向けて、健康的なバランスのとれた日本食を中心にする事への考えはどうか。

教育長 具体的な献立はまだ検討を行っていないが、献立を考える上で重要なことは、食器の種類の数である。

施設規模や配送方法等にも影響を及ぼすことから、現在総合的に検討



▲おいしい給食を届けます

助成金などで再生可能エネルギー促進の取り組みを

奥富 喜一 議員

質問 給湯は太陽熱と石油・ガス併用が当面の最善策だと思うがどうか。再生可能エネルギー活用助成金など促進策をどう考えるか。

ギー設備等の助成を行う。

市長 各家庭の状況に合わせ、専門家の助言を参考に選択してほしい。従来の助成金は25年度に終了したが、26年度から商工会実施の住まいの省エネ・バリアフリー住宅改修等工事費助成事業で再生可能エネ



▲市役所屋上のソーラーパネル

指定管理者制度導入の考え方について

大野 聡 議員

質問 中央体育館、屋外体育施設の指定管理者制度導入の考え方と課題は。

署との連携等が課題と考える。

教育長 サービス面、財政面からも効果は高く、制度導入に向けて検討を進めたい。NPO法人福生市体育協会も視野に入れ、経営力、運営力等、多角的に検討したい。中央体育館は老朽化やバリアフリーへの対策、屋外体育施設は、公園の所管部



▲指定管理者制度導入を検討する中央体育館

福生市におけるコンプライアンス指針の作成は

青海 俊伯 議員

質問 多数の管理職の定年退職が続くが、どんなコンプライアンス基準をいつまでに作成する予定か。

み、7月までに作成・配布したい。

市長 法令遵守にとどまらず、公務員倫理や社会常識を含めた職員としてとるべき行動規範として広い意味でとらえて、コンプライアンス規定を整備する動きがある。福生市においても「良き職員としての行動規範」を示して継承できるよう取組



▲職員が遵守する地方自治法と福生市例規集

障害者優先調達推進法の調達の方法について

原田 剛 議員

質問 障害者就労施設からの物品調達はどんな方法で行っているのか。

づき各課から発注し調達に努めている。

市長 調達を推進する方針として、必要な情報を収集・共有し、質の向上や供給円滑化の取り組みを支援する。また、受注機会増大の可能性を検討し、調達が可能となる分離分割発注、履行期限等を考慮し、地方自治法施行令規定の随意契約を積極的に活用するとしている。この方針に基



▲優先調達により作成されたタクシー券等

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

☎042-551-1523

○デイジー (DAISY) とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

(利用者一割負担)

新都市連絡協議会におけるスポーツ交流事業について

田村 正秋 議員

質問 滋賀県守山市で行われる少年サッカーの交流試合はどんな内容か。参加チームや今後の予定は。

完了する。

教育長 守山市、北海道登別市、福生市の間の新都市連絡協議会でスポーツ交流事業を行うこととなり、今年の8月に少年サッカーを行う。小学生の選手15名、指導者等5名を派遣予定だ。この事業は3市が輪番で開催し、一巡の28年度で一旦



▲新都市連絡協議会スポーツ交流事業で行われるサッカー

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけたと思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像 ※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法 福生市公式ホームページ (http://www.city.fussa.tokyo.jp/) にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

ケーブルテレビで本会議の生中継を放映します

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

降雪、積雪に対する市の対応や対策は

大野 悦子 議員

質問 2週続けての大雪に見舞われたが、市の対応や対策を伺う。

備品の整備に努めたい。

市長 市として駅周辺や主要道路の除雪に全力を挙げ、安全確保に努めた。市職員のほか、消防団員、交通安全推進委員、建設業者の協力も得て、駅周辺や主要道路など優先順位を決めて除雪を行った。今後、地域防災計画での位置づけや、大雪対応マニュアルの作成、車両や除雪装



▲大雪後の除雪作業

平成26年 第1回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 町田 成司 (一問一答)	1 福生市一般職の任期付職員について (1)任期付職員の現状と今後について (2)任期付職員の他の部署への活用について	⑩ 阿南 育子 (一括)	1 未来をつくる子どもたちへ市が提供する学校給食について (1)新給食センター(災害時対応施設)について (2)市民への情報提供と意見聴取の方法について
② 串田 金八 (一括)	1 福生市の農業について (1)現状について (2)認定農業者について 2 小学校給食について (1)地産地消について	⑪ 大野 聡 (一括)	1 表彰制度について (1)職員表彰について (2)表彰条例に基づく一般表彰について 2 指定管理者制度について (1)指定管理者制度新規導入の方針について (2)中央体育館、屋外体育施設の指定管理者制度導入の考え方について
③ 柳川 英司 (一括)	1 高齢者の安心に満ちた「まちづくり」について (1)高齢者の「生きがい」について (2)高齢者の「健康づくり」と「生きがいづくり」の推進について (3)高齢者の虐待把握状況及び高齢者虐待防止策について 2 「障害者スポーツ」の振興について (1)「障害者スポーツ」の意義について (2)「障害者スポーツ」の現状と課題について (3)「障害者スポーツ」の推進について	⑫ 原田 剛 (併用)	1 障害者就労施設等について (1)障害者優先調達推進法について (2)障害者優先調達の方法について (3)物品の販売確保について 2 発達のアンバランスについて (1)発達のアンバランス状況について (2)幼稚園、保育園、学校における研修について (3)幼稚園・保育園と小学校の連携について (4)発達療育施設について (5)子ども応援を中心とした体制づくりについて
④ 武藤 政義 (一括)	1 男女共同参画について (1)男女共同参画社会に向けての基本的な考え方について (2)具体的な啓発活動について 2 次世代育成支援行動計画について (1)子ども達を取り巻く環境について (2)計画の基本的な考え方について (3)主な施策の進捗状況について	⑬ 田村 正秋 (一括)	1 福生市の農業について (1)福生市の農業の将来像と基本方針について (2)福生市の認定農業者制度について 2 認知症予防対策について (1)福生市の今後の認知症予防対策について 3 教育行政について (1)新都市連絡協議会におけるスポーツ交流事業について (2)小・中学校における食育について
⑤ 末次 和夫 (一問一答)	1 福生の「良さ」について (1)福生の「良さ」に関する市の所見について (2)市民への周知について 2 東京26市中、外国人の人口比率が一番高い福生市について (1)市内外国人の現状及び現状に対する市の所見について (2)市内外国人と市民との交流等の接点について (3)市として、まちづくりにおける市内外国人への期待等について	⑭ 大野 悦子 (一括)	1 振り込め詐欺等について (1)市内の現状と対応について 2 桜まつり及び敬老大会等の事業の見直しについて 3 降雪、積雪対策について 4 市内樹木の選定について
⑥ 堀 雄一郎 (併用)	1 公会計制度について (1)公会計制度改革の進捗状況について (2)新地方公会計制度対応のための準備について 2 定住化対策について (1)シティセールスの成果について (2)今後の取組みについて 3 文化財等の保護と活用について (1)登録文化財・指定文化財について (2)地名・橋・坂等の名称の由来及び歴史等の紹介について	⑮ 池田 公三 (併用)	1 福生市の公園・緑地管理について (1)個々の立地条件を踏まえた整備方針について (2)生物多様性との関連について (3)L A S - E (環境自治体スタンダード)との関連について (4)観光客誘致との関連について (5)公園・緑地管理の基本計画を行政・市民・研究者の協同で進めることについて 2 学校給食について (1)学校給食の食中毒対策について (2)中学校給食の実施について
⑦ 岩崎 百合子 (一括)	1 「子育てするなら福生」について (1)福生市における「子育て」の定義とは (2)「ふっさっ子未来会議」について (3)子育て支援について (4)「療育」について 2 五日市街道について (1)周辺事業との連携整備について	⑯ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地について (1)特定秘密保護法について (2)横田基地で飛行訓練が強まっていることについて (3)オスプレイの飛来・訓練・配備について 2 CO2削減の取り組みについて (1)福生市地域新エネルギー詳細ビジョンについて (2)再生可能エネルギーの取り組みについて 3 市内循環バスを走らせることについて
⑧ 五十嵐 みさ (一括)	1 男女共同参画社会の実現に向けて (1)あらゆる分野への男女共同参画の推進について (2)ワーク・ライフ・バランスの推進について (3)男女平等の視点からの相談窓口の整備について 2 教育現場における食物アレルギーの対応について (1)教職員に対する食物アレルギー及びエピペンの研修について (2)食物アレルギーによるアナフィラキシー対策について	⑰ 青海 俊伯 (一問一答)	1 2025年問題と地域包括ケアシステムについて (1)2025年問題に対して市の取り組みと今後の対応について (2)地域包括ケアシステムについての厚生労働省からの情報等について (3)地域包括ケアシステムの構築と介護保険事業計画について 2 市職員のコンプライアンスについて (1)福生市のコンプライアンスの現状について (2)総務省の技術的助言に対する対応について (3)福生市コンプライアンス指針の作成について
⑨ 杉山 行男 (一問一答)	1 市道街灯のLED化の進捗について (1)街路灯LED化の進捗状況について (2)LED化の効果について 2 玉川上水にかかる橋について (1)市内の9橋の長寿命化のための劣化調査について (2)観光資源としての橋をどのように活用しているか (3)日光橋は国内最古の橋か		

委員会の審査から

建設環境委員会

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案及び陳情と、継続審査となっていた陳情の審査が3月11日、12日、13日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

それから、横田基地対策特別委員会、定住化対策特別委員会が3月14日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

3月11日に委員会が開催され、東福生駅西口仮設自転車置場、市道の認定・廃止路線の現地視察を行いました。その後、議案5件を審査し原案のとおり可決しました。

また、1件の陳情を継続して審査することとしました。

◎福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

問 平成17年度頃から資源物の持ち去りが多く発生するようだが、ここで条例改正を行う理由は。

答 平成26年4月から小型家電の戸別の無料回収が始まり、有価物としてかなり高価なものが出される可能性もある。その場合、不審者のご家庭の敷地内などに立ち入る危険性も懸念されることからこの時点とした。



▲市道の認定路線を視察

問 市内での持ち去りの実態はどのくらいか。

答 正確な数字は不明だが、新聞・雑紙で平成17年度から総量にして355トンの差となり、平均売り払い価格の13円を掛けると約460万円と推計している。

問 下水道長寿命化計画の内容は。

答 下水道長寿命化計画の概要は、下水道管路施設に対して適正な維持管理を図り補修更生及び改築を施し管渠の耐用年数が50年と言われるものができるだけ長くして、ライフサイクルコストの適正化を図るもの。

問 下水道長寿命化計画の概要は、下水道管路施設に対して適正な維持管理を図り補修更生及び改築を施し管渠の耐用年数が50年と言われるものができるだけ長くして、ライフサイクルコストの適正化を図るもの。

問 後期高齢者医療特別会計繰出金の補正の理由は。

答 後期高齢者医療保険料等負担金及び保険基金安定繰出金の追加請求があったことに伴い、歳出内の増減を勘案して補正を行った。

問 後期高齢者医療特別会計繰出金の補正の理由は。

答 後期高齢者医療保険料等負担金及び保険基金安定繰出金の追加請求があったことに伴い、歳出内の増減を勘案して補正を行った。

問 後期高齢者医療特別会計繰出金の補正の理由は。

答 後期高齢者医療保険料等負担金及び保険基金安定繰出金の追加請求があったことに伴い、歳出内の増減を勘案して補正を行った。

問 後期高齢者医療特別会計繰出金の補正の理由は。

答 後期高齢者医療保険料等負担金及び保険基金安定繰出金の追加請求があったことに伴い、歳出内の増減を勘案して補正を行った。

市民厚生委員会

で、この結果とマンホール調査の結果を含めて平成27年度詳細計画の内容を決めていく。

3月12日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。

また、1件の陳情を不採択としました。

◎福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

問 第三者行為が起きた場合、条例改正における市民へのメリットは。

答 第三者行為による傷害届け出により、被害者となった対象者の方が損害賠償を受けるまでの間、医療費の負担を軽減して、安心して治療ができる。

問 第三者行為が起きた場合、条例改正における市民へのメリットは。

答 第三者行為による傷害届け出により、被害者となった対象者の方が損害賠償を受けるまでの間、医療費の負担を軽減して、安心して治療ができる。

問 第三者行為が起きた場合、条例改正における市民へのメリットは。

答 第三者行為による傷害届け出により、被害者となった対象者の方が損害賠償を受けるまでの間、医療費の負担を軽減して、安心して治療ができる。

問 第三者行為が起きた場合、条例改正における市民へのメリットは。

答 第三者行為による傷害届け出により、被害者となった対象者の方が損害賠償を受けるまでの間、医療費の負担を軽減して、安心して治療ができる。

問 第三者行為が起きた場合、条例改正における市民へのメリットは。

答 第三者行為による傷害届け出により、被害者となった対象者の方が損害賠償を受けるまでの間、医療費の負担を軽減して、安心して治療ができる。

総務文教委員会

3月13日に委員会が開催され、3件の議案を原案のとおり可決し、2件の陳情を不採択、1件の陳情を継続して審査することとしました。

◎福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

問 本文中に「公務運営に支障がある場合を除き」とあるが、具体的にどのようなことが考えられるか。

答 担当している業務で、代わりの職員を充てられない場合などを考えている。

問 本文中に「公務運営に支障がある場合を除き」とあるが、具体的にどのようなことが考えられるか。

答 担当している業務で、代わりの職員を充てられない場合などを考えている。

問 本文中に「公務運営に支障がある場合を除き」とあるが、具体的にどのようなことが考えられるか。

答 担当している業務で、代わりの職員を充てられない場合などを考えている。



▲総務文教委員会の審議の様子

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

なお、陳情2件を審査し、不採択とすることとしました。



▲乳児検診で健やかに

◎福生市敬老金条例の一部を改正する条例

問 敬老金を減額した理由は。

答 他市の状況を勘案

でも、状態が回復した後に再度申請をすれば取得することができる。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第4号)

問 入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 ふるさと人づくりまちづくり基金に1061万5千円積み増しされるが、その使い道は。

答 寄附していただいた方の意思に沿った形で予算に充当し、そのほかの全体的な基金については、今後、まちづくりのためにその基金を活用していくが、現在のところ、具体的な使い道は決まっていない。



問 疾病等で一度中断した育児休業を、回復した後に再度取得することは可能なのか。

答 疾病などにより、一度育児休業が取り消され

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成26年第2回定例会は、6月3日(火)から6月20日(金)までを予定しています。

◆本会議 (予定) 午前10時開会

6月3日(火)～6月6日(金)及び6月20日(金)

◆常任委員会 (予定) 午前10時開会

6月10日(火)～12日(木)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

平成26年 第1回定例会本会議の傍聴者数等

- ・傍聴者数 延べ44名
- ・インターネット議会中継閲覧件数 (2月25日～3月26日) 222件

◆定住化対策特別委員会 中間報告

わが国では人口減少時代が到来する中、自治体間において担税力のある人口獲得競争が本格化する状況にあり、人口減少は地域の活性化やまちづくりの大きな阻害要因となっています。

そのような状況の中、当市の人口におきましても平成14年をピークに減少に転じ、特に29歳以下の構成比率の減少が目立っています。

このことから、若者の人口増加対策や住むまちとしての魅力あるまちにするにはどうしたらよいかといった課題に取り組むべく、本市議会としても、定住化を促進するための住宅施策の観点から調査・研究の目的で定住化対策特別委員会を設置し、調査をしてきました。

そうした中、平成19年7月に策定しました「福生市住宅マスタープラン」の改定案が市長から議会に示されたことから、この改定案について、当委員会でもさまざまな角度から調査・研究を行い、その結果、10項目にわたる要望事項にまとめた「福生市住宅マスタープラン改定案に対する要望書」を作成し、議会に諮り、市長に提出しました。

その後、市では、議会からの要望等が反映された「福生市住宅マスタープラン改定」の最終案が本特別委員会に報告されました。

当委員会では、福生市住宅マスタープランの改定に伴い、付議事件であります住宅施策の調査・研究について、一定の結果を見たかと判断し、住宅施策についての調査結果を議会に中間報告しました。

なお、付議事件として新たに追加した子育て施策(福生市子ども・子育て支援事業計画について)を調査・研究していく予定です。

【要望事項】

- 1 平成19年7月に策定した現行プランに記述のある現行計画の評価、総括及び達成度を今回の改定プランにも記載し、あわせて前倒しの理由も盛り込むこと。
- 2 総合計画等と同様に、前期及び後期に分けた5年ごとの見直しを検討し、議会へ報告すること。
- 3 市民に分かりやすい文章表現及び説明等の解説(出典)の記述をすること。
- 4 「住宅・住環境に関する市民アンケートの調査結果」を反映した内容を、重点施策等の中で分かるような記述をすること。
- 5 国・東京都の住宅施策等の方針、計画の見直しが行われたときには随時、議会に報告をすること。併せて、福生市住宅マスタープランの整合性を図る改定をするときにも議会へ報告をすること。
- 6 可能な範囲で、重点施策の定量化及び数値化を設定し、年度ごとの計画の進行管理を行うこと。
- 7 独立行政法人都市再生機構及び東京都住宅供給公社へ居住者が自由にリフォームできるような制度の創設及び近隣とのコミュニケーションを図る施策等について関係機関へ要望していく旨を記述すること。
- 8 福生市の定住化対策に資する、良質な住宅建設等の促進策及び顕彰制度等の創設を検討すること。
- 9 用途地域の見直し地区計画、区画整理事業及び市街地再開発事業の積極的な活用を図ること。
- 10 ファミリー世帯等の住宅の新築・改築等の促進を図られるよう、各種支援制度の更なる充実及び税制の優遇措置等を国や東京都に働きかけること。

定住化対策 特別委員会

3月14日に委員会が開催され、7件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

なお、定例会休会中に委員会を開催し、新たに「子育て施策について」を追加し、調査研究することを決定しました。

1. 福生市住宅マスタープランについて
先の定例会で議会で要望した内容を取り込んだマスタープランについて市から説明がありました。
2. まちづくり総合活性化研究事業の結果報告について
25年度に市が定住化のために調査研究した結果の説明がありました。
3. 子育て施策の現状について
新たに付議事件として追加した子育て施策について調査研究するため、市の施策の現状について説明がありました。
4. 福生市子ども・子育て支援事業計画策定ニーズ調査結果報告について
福生市子ども・子育て支援事業計画を策定するため実施したニーズ調査(アンケート)の結果の説明と、今後のスケジュールの説明がありました。

5. ふっさつ子未来会議の報告について

現在、教育委員会が設置している「ふっさつ子未来会議」での学力向上対策、不登校・健全育成対策の検討状況について一年間の報告がありました。

6. 定住化対策特別委員会の中間報告について

当委員会の一年間の検討結果について、今定例会最終日の本会議で中間報告を行うための、報告案を審査しました。



▲定住化対策特別委員会の審議の様子

7. 付議事件の変更について

現在調査研究している「子育て施策について」具体的な事項を検討するため、現在、市が策定している「福生市子ども・子育て支援事業計画」のまとめを待って、調査研究するため、「子育て施策について(子育て支援事業計画について)」と変更し、今後、調査研究することになりました。

横田基地対策 特別委員会

3月14日に委員会が開催され、3件の議題について審査を行いました。

1. 平成26年度防衛補助事業等の実施予定について

- ① 防衛補助事業(8条)は、加美立休通り外1改良事業、玉川上水緑地日光橋公園等整備事業等、3事業に補助額5239万9千円。
- ② 特定防衛施設周辺整備調整交付金(9条)は、交付額3億5千万円で、もくせい会館・商工会館改良事業、消防ポンプ自動車更新事業等4事業に充当し、残りは基金に積立て。
- ③ 再編交付金の交付額は、前年度と同額の2億764万1千円で、全額基金に積み立てた後、7500万円を福祉バス運行事業等7事業に充当し、26年度末の残高は7億1745万5千円の見込みとの説明がありました。



▲防衛補助事業で購入した消防ポンプ車

2. 平成26年度基地関係国予算について

- ① 防衛省所管の基地周辺対策経費(再編交付金を含む)は、対前年度比1.4%増の約1312億1900万円。
- ② 総務省所管の基地交付金等は、前年度と同額の345億4千万円、また、福生市への25年度交付額について9条交付金の3億7700万6千円、基地交付金は対前年度比12.5%増の16億3013万7千円との説明がありました。

3. 横田基地に関する情報等について

① 1月11日に行われた横田基地内の小・中・高校生ら有志19名と市民有志3名による第2ゲートから福生駅間の道路清掃活動。

編集後記

予想外の大雪、残雪の中で始まった定例会でしたが、最終日には桜の開花の音が聞こえる季節に変わっていました。

会期中には国の平成26年度予算が年度内に成立されました。わが市は国からの補助金・交付金が大きな割合を占めます。特に横田基地関連の補助金・交付金は予算全体の約一割を占めます。理事者と一体となった予算要望活動も議会の大きな仕事です。

会期中に大雪対応で、生活に必要な道路の雪かきに昼夜を問わずご尽力いただいた消防団員、職員に匿名で手作りクッキーが届けられ、添えられたメッセージを読み上げていただいた時は感動で目頭を押さえました。小・中学校の卒業式が挙行され、小学校では四百四十余名、中学校では四百十余名が巣立って行きました。大きく成長してわが市のリーダーになっていただけるようご期待申し上げます。

議員各位は、立ち位置が違えば意見も違います。互いに議会を尊重、信頼をもって、議案一つ一つに真摯に向き合い質疑・討論をしていますので、本会議、委員会におかけ、傍聴していただきました。

特別委員会が活躍する...